

35○妖害…奇怪な害毒、奇妙な風評。

(参) 害毒…物事、とくに社会に害を及ぼす事柄。

36○惡名…この場合、道真が醍醐天皇を廢し、女婿の齊世親王の即位を計画したとの風評を指す。『北野天神縁起』によれば、醍醐天皇の異母弟(母は宇多天皇女御・橘義子)として、齊中親王ただなかと齊世親王の二人がいた。ことに齊世親王の妃は道真の娘であった。

『漢語大詞典』には、「壞名声」と説明する。『春秋左氏傳』文公十八年に「世濟其凶、增其惡名」の一文が、杜甫「後出塞詩之五」に「惡名幸脱免、窮老無兒孫」の句が見える。

○罫 ……払う、除く。

37○邪勝正…よこしまなものの力がまさって正義に勝つ。

『漢書』「禮樂志」に「世衰民散、淺薄邪勝正」の用例が、また『晋書』「五行志」に「若迺信道不篤、或燿虚偽讒夫昌、邪勝正、則火失其性矣」の一文が見える。

38○或 ……ことによっては。ある時は。

○歸權…權謀にしよう。

歸…服従する、くみする、帰属する、つき従う。

權…はかりごと。物事を強制し、また処置する威力。人を支配し服従させる力。

▼正道によらない変則的なものを「權」という。臨機応変の謀略(權謀)。

39○移徙…うつること。うつり動く。移転。

『漢語大詞典』には、「搬動住处、遷移」と説明する。『史記』「匈奴列伝」に「而單于之庭直代、雲中。」